

令和元年度 事業報告

○公益社団法人下松市シルバー人材センター

1 概況

我が国においては、少子高齢化が進展し、高齢者人口が増加する中、高齢者を含めた働き方改革等諸施策を推進し、誰もが生きがいをもって充実した生活を送ることができる「生涯現役社会」づくりを目指した動きが活発になってきていますが、高齢者が培ってきた知識や能力を活かして地域に密着した仕事に就き、ボランティアなど様々な社会活動に参加・貢献する組織として、シルバー人材センターの役割が、さらに増してきています。

しかし、近年のシルバー人材センターを取り巻く環境は、民間事業所での適正就業の推進、雇用の延長等によって、新規会員の加入が伸び悩むなど厳しい状況が続いています。

このような状況の中、当センターにおいては、会員・役職員が一丸となり、地域社会の信頼と期待に応えながら、シルバー人材センター事業の推進を図るべく、就業機会の確保・拡大に努めてまいりました。

以下、令和元年度事業実施概要について報告します。

(1) 会員の動向

会員の状況は、年度末会員数480人（男性314人、女性166人）となり、前年度の488人（男性315人、女性173人）と比べ8人の減となりました。

(2) 事業実績

受託事業の事業実績は、受注件数1,973件で、前年度の2,170件に対して、197件の減、契約金額は約1億9900万円で、前年度の約2億914万円から約1,014万円の減となりました。

労働者派遣事業の事業実績については、受注件数32件で、15事業所へ50人の会員を派遣しており、契約金額約3,344万円で、前年度の約2,769万円に比べ約575万円の増となりました。

受託事業及び労働者派遣事業の契約金額の合計が約2億3,239万円で、前年度の約2億3,683万円から約444万円の減となりました。

なお、収支決算については、経常収益計及び経常費用計が約2億4,765万円で収支相償となりました。

就業率については、86.0%となり、前年度の87.5%から1.5ポイントの減となりました。

(3) 組織体制の充実強化

第三次中期基本計画に掲げる課題の実現と計画の推進に向けて、総務・広報・就業開拓・安全の各委員会を中心に、組織の活性化に取り組みました。

会報「星のさと」「事務局だより」等を配付し、会員への情報提供と連帯意識の高揚を図りました。

独自事業として、引き続き、正月飾り製作班の輪飾り・門松づくり、ハーブの会の軽食・スイーツづくり、布倶楽部の布製品・小物づくり、木工品製作班の木工品づくりの各事業を実施しました。

(4) 就業開拓

就業開拓推進員により、官公庁、民間企業及び一般家庭等を逐次訪問し、シルバー人材センター事業のPRを行うとともに、就業情報を収集し、就業機会の開拓に努めました。また、未就業の会員を対象とした「共同作業」を実施し、未就業会員が一人でも多く就業するきっかけとなるように取り組みました。

(5) 普及啓発活動

市の広報やマスメディアを活用し、シルバー人材センター事業の普及啓発に努めました。普及啓発促進月間中の10月19日（土）には、市内の中心市街地を対象とした、道路清掃のボランティア奉仕作業を実施しました。

また、11月1日（金）に「第11回グラウンド・ゴルフ大会」、11月24日（日）には市の福祉イベント（下松市福祉健康まつり）に参加し、一般市民へのシルバー人材センター事業の周知を図りました。

(6) 安全・適正就業の推進

安全就業については、「安全だより」の発行及び安全パトロールを実施し、安全への周知徹底を図りました。

また、安全・適正就業啓発の一環として、7月12日（金）“スターピアくだまつ”において、「安全・適正就業推進大会」を開催しました。

「事故ゼロ」を目標に掲げて、安全就業に積極的に取り組みましたが、就業途上での交通事故（自損事故）1件、就業中の会員負傷事故が2件、物損事故が3件発生しました。会員・役職員が一体となり、今後も尚一層事故の防止に努める必要があります。

適正就業については、会員への適正就業基準の周知及び発注者への適正就業ガイドラインを活用した周知と理解の促進に努めました。

(7) 福利厚生事業

会員相互の親睦交流を図るための「日帰り親睦旅行」を企画し、会員の参加を募りましたが、定員に達することができず今年度は中止となりました。

令和2年2月11日（火）には会員研修会と併せて親睦会を開催して、会員相互の交流を深めました。

○ 下松市勤労者総合福祉センター

1 概 況

(1) 施設の利用促進

センターの有効かつ公平な利用を図るため、市をはじめ各関係団体及び一般市民の協力を得ながら利用者の増加に努めました。

(2) 施設の維持管理

築後30年以上経過して、施設・設備の老朽化が進んでいますが、良好な維持管理を継続していくため、日常点検及び各専門業者による点検委託を実施するとともに、老朽箇所の修繕・補修を行いました。

(3) 施設の利用状況

①体力づくり

体力増進、健康保持のため、体操教室の開催及び卓球、バドミントンなどスポーツの場としての利用を図りました。

②教養文化

書道、オカリナ、大正琴等各種講座を開催しました。

(4) 就業支援

ハローワークの求職情報を掲示するとともに、技能講習会場としての活用に努めました。